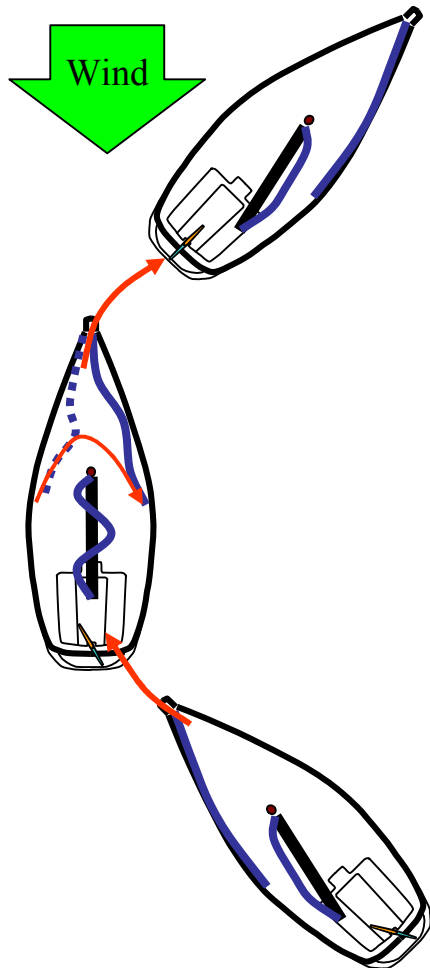


アップウインドでのタッキングを「カミング・アバウト」と称する。日本ではこれを「タッキング」と表現しがちであるが、カミングアバウトが世界標準である。

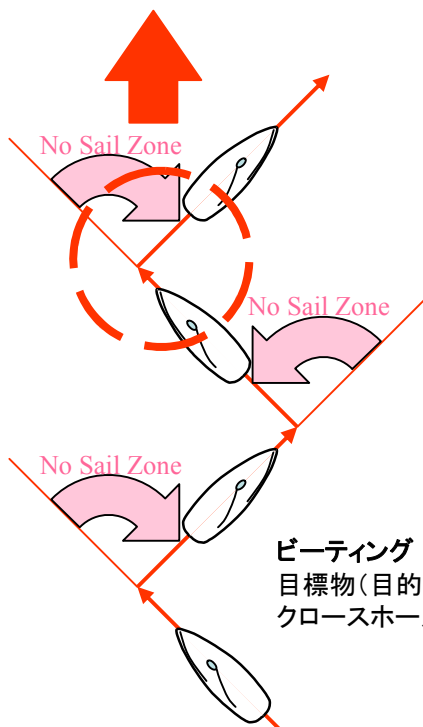
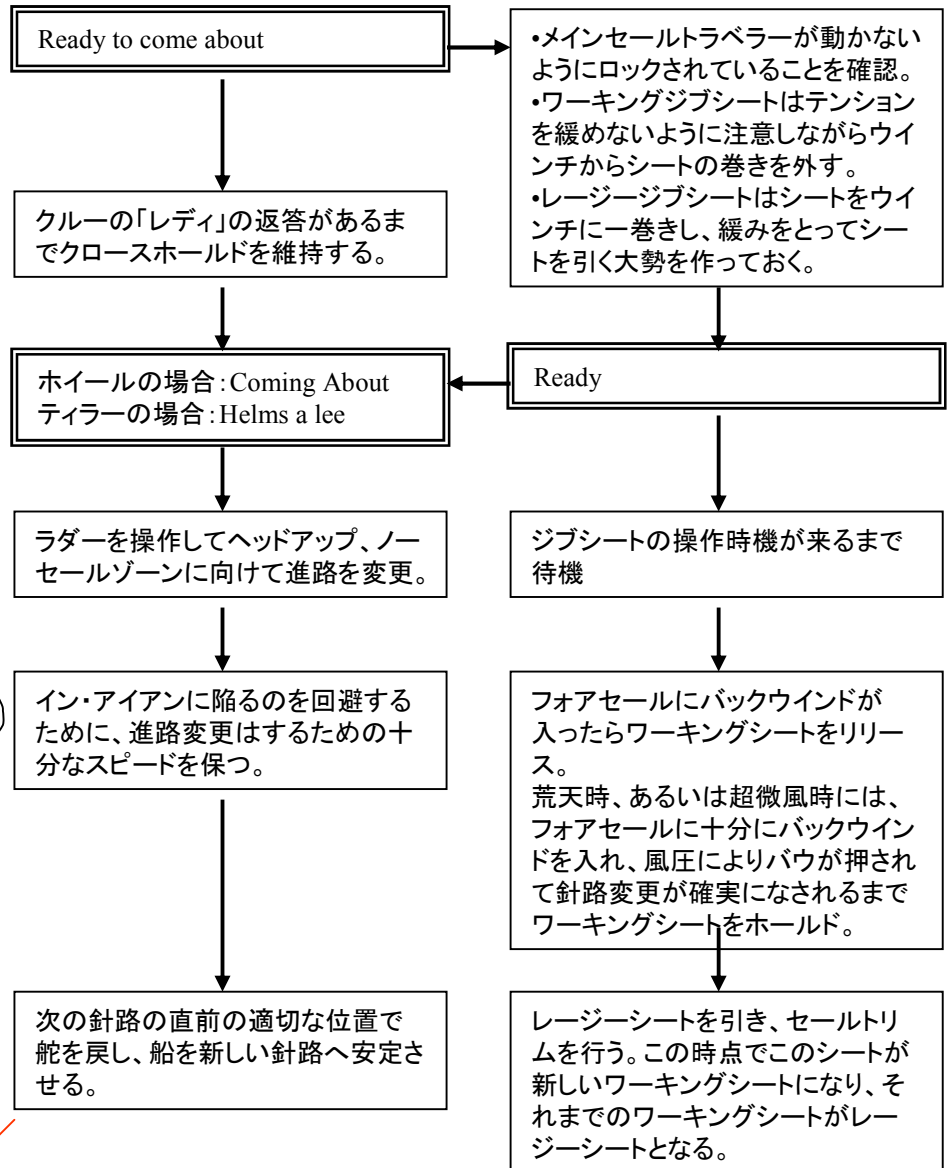


カミングアバウト (Coming About)の手順

安全確保のために、正しいコマンドを使ってタッキングを行うこと。

ヘルムスマン

クルー



ビーティング (Beating)

目標物(目的地)が風上のノーセールゾーンの中にあるとき、できるだけ早く到着するためにクローズホールドを維持し、カムアバウトを繰り返しながら航行することをビーティングと称する。

カミングアバウト (Coming About)

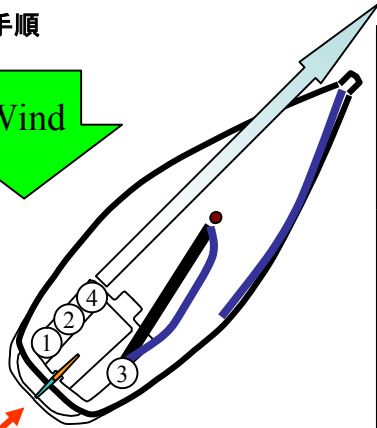
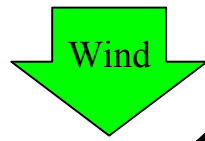
4名配置のカミングアバウト操作標準手順

①: ヘルムスマン
 バウが風軸にたつ瞬間に反対側にすばやく移動。ティラーを動かさずに移動することがコツ。

②: メインシート
 ヘルムスマンより早く反対側へ移動する。

③: Stbd side クルー
 セールが反対側へ移動したら一気にジブシートを引き込む。

④: Port side クルー

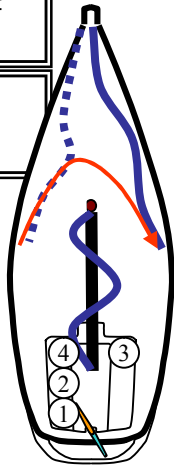


①: ヘルムスマン
 新針路の目標物にバウを合わせるように、ティラーを戻す。

②: メインシート
 ヒールバランスを考慮して位置を移動

③: Stbd side クルー
 ヒールバランスを考慮して位置を移動

④: Port side クルー
 ヒールバランスを考慮して位置を移動

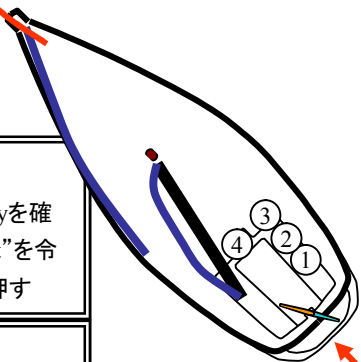


①: ヘルムスマン
 クルー全員のReadyを確認して“Come about”を令し、ティラーを少し押す

②: メインシート
 反対側に移動する準備
 強風時はトラベラー移動

③: Stbd side クルー

④: Port side クルー
 ジブセールに裏風が入ったら、ウインチから上に引き抜くようにジブシートを一気にリリースする。



①: ヘルムスマン
 “Ready for come about”を下令し、回頭後の目標を確認

②: メインシート
 準備事項は特になし
 “Ready”

③: Stbd side クルー
 ジブシートをウインチにひくと巻きして、たるみをとるように引き込み“Ready”

④: Port side クルー
 ジブシートのクリートをはずし“Ready”
 クリートをはずすときは、ウインチからシートが滑らないように行う。

